

はい！
透析室です。

医療法人
JR広島病院
(広島県広島市)

「広島市東区の基幹病院では透析ができる病院がなかったのですが、今回の当センター新設で東区のみなさまに安心していただけたらと思っています」と語ってくださった越智先生。



良質で安全、変わらない信頼と 誠実な医療をめざして

医療法人 JR広島病院は広島市東区の基幹病院として、1920年に広島駅構内に広島鉄道治療所として設立されて以来、96年の歴史を地域のみなさまと一緒に歩んできました。診療所から病院への機能強化、原爆投下による病院建物全焼、南区大須賀町から東区二葉の里への移転、国鉄分割民営化など、時代の変化の中でさまざまな転換点を迎え、2016年4月に西日本旅客鉄道株式会社から独立をして新たなスタートを切っています。今回は地域ニーズを踏まえて新設された施設のひとつである、透析センターの越智先生にお話を伺いました。

一透析センター設立のきっかけ

当センターは2016年1月に当院が移転した際、導入されたばかりの新しい施設です。透析センター導入の背景には、さまざまな治療を提供できる病院であるにもかかわらず、透析センターがないばかりに、入院をお断りしなければならない

患者さんがいたことが大きく影響しています。予期せぬ急性腎不全で他院に搬送することもありました。この度、透析センターを導入したことで、透析が必要な患者さんも他の患者さん同様、入院を必要とする場面を含め多岐に渡る治療を当院で受けいただくことが可能になりました。当院の透析センターは新設されたばかりですが、専任スタッフはベテランが揃っていますので、安心して透析を受けていただけたと思います。また、当センターではシャントトラブルに対応できます。シャントトラブルが起こった場合、早急な処置をすることによって、一時的なカテーテルでの透析をすることなく、当日中に透析ができるように努めています。当院では透析センター新設をはじめとして、地域の発展に繋がるように、JR広島駅北側の医療福祉開発拠点として、病院を新築移転しました。

一オンラインHDFと患者さんの栄養状態

当センターでは当院の理念でもある「優しさで誠実な医療」を大切にしており、患者さんの体調としっかり向き合って治療方針を決定していま

す。全台でオンラインHDFが可能です。高齢の患者さんにはHDでのマイルドな透析を実施しています。ただ、尿毒素を蓄積させないうちに除去したいので、できれば全員にオンラインHDFをしたい思いもあり、栄養状態のよくない高齢者にはできる範囲でしっかり食事を摂るよう食事指導もしています。また、透析導入期にPDに興味がある患者さんには、通院が月に1~2回で済む、地元の開業医と連携が取れば遠方でも治療が可能などのメリットを踏まえ、PDファーストの治療方針もとっています。

一透析患者にならないための指導

透析センターを導入したことにより、慢性腎臓病の患者さんを外来で最初から診ることができるようになりました。透析治療の回避ができるよう指導し、その患者さんが透析センターに来なくて済むよう努力しています。やむを得ず透析が必要になった場合、患者さんは不安に感じる人が多いと思いますが、同じスタッフによる医療サービスで、対人や環境が新しくなることによるストレスは少しでも減らせるのではないかと考えます。透析センターでは、治療を受ける患者さんに毎回医師が声をかけます。看護師や臨床工学技士だけではなく、患者さんと医師のコミュニケーションも大切にしています。

一毎回行うカンファレンス

当センターでは、患者さんのシャントの状態(HD時看護師が毎回聴診器で音を確認し、異常があればただちに医師に伝えます)や、体内水分量の測定を指標にしたドライウェイトの設定などのカンファレンスを毎回行っています。穿刺が困難な患者さんはエコー下で穿刺を行うなど、患者さんに少しでも負担なく過ごしてもらえるよう医療サービスの向上についての意識を共有しています。誰がどの患者さんを担当しても同じ医療提供ができることが大切だとわたしたちは考えています。電子カルテでは患者さんのシャントの状態を写真で撮り、シャント情報をスタッフ全員が共有できるようにしています。患者さんが他院に転院しなければならない状況では、それらの情報を全て伝えてスムーズな申し送りができるよう努めています。

一今後の展望

JR広島駅新幹線口徒歩5分の好立地を生かし、今後は地域の患者さんのみならず、国内外の透析患者さんが旅行する際の受け皿になればと思います。また、夜間透析の導入も予定しており、働き盛りの世代も支えていけたらと考えています。当センターのサービス向上に努め、地域に根付いた透析センターとして認知されれば幸いです。



施設概要

所在地：広島県広島市東区二葉の里三丁目1-36
透析ベッド数：20床
院長：小野栄治先生
TEL：082-262-1171
透析室専任スタッフ：医師1名、看護師8名、臨床工学技士4名、事務1名

(2016年11月時点)



透析センターでは、患者さんに安全で快適な透析を受けていただくために、異常等の早期発見や患者指導など、リスクを最小限に留めるチームワークが重視されています

全ての装置がオンラインHDF治療に対応していますが、患者さんの体調に合わせたマイルドな透析も実施しています

